

# 埼玉大学教育学部附属特別支援学校 第52回 特別支援教育研究協議会

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 重点課題研究  
「特別支援教育に関わる教育課程の基準等に関する研究」 研究協力校

## 児童生徒の 確かな学びを目指した 授業づくり (3年次/最終)

「各教科等を合わせた指導」における学習評価の研究



後援:埼玉県教育委員会 さいたま市教育委員会 埼玉県特別支援教育研究会 埼玉県連合教育研究会

令和6年12月14日(土) 8:55~16:30

場所: 埼玉大学教育学部附属特別支援学校

対面参加/オンライン参加 ※ハイブリッド開催 参加費無料

### 講演会

「生涯発達の視点に立った授業づくりと評価  
～言語・コミュニケーション領域を中心に～」

講師 文教大学教育学部 教授 小野里 美帆 様

▶ご専門である言語・コミュニケーション発達の視点から、様々な実態の児童生徒が、学習したことを今後の生活に活かしていくための、実態把握の重要性、授業づくりと評価のポイント等についてお話をいただきます。

# ■ 研究の取組

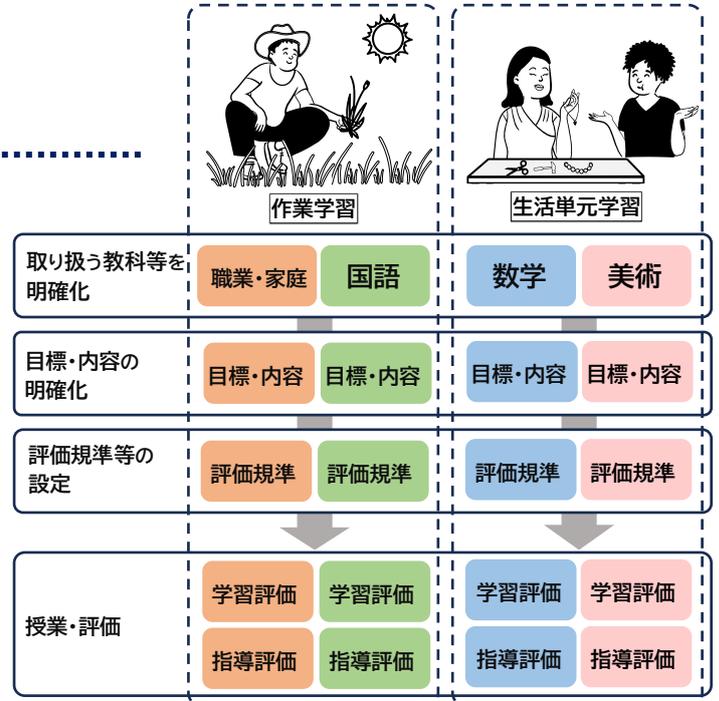
## 「確かな学び」

- ▶本研究では授業づくりにおいて目指す「確かな学び」を、「確かな学力及びそれを身に付ける過程で、自身の学び方、ともに学ぶ仲間や相手、環境を意識し、実際の生活の場面で活用できること」と定義しました。

## 研究の背景

- ▶本校では、「各教科等を合わせた指導」を重視し、生活に即した学習や体験的な学習を通して、児童生徒の自立と社会参加に取り組んできました。しかし、一方で「各教科等を合わせた指導」における教科等の目標・内容との関連、児童生徒に何が身についたのかを、教科の視点から明確にすることが課題でもありました。
- ▶そこで、本研究では、作業学習や生活単元学習など「各教科等を合わせた指導」において、取り扱う各教科等の目標・内容を明らかにし、その学習評価のあり方を改善することが、児童生徒の「確かな学び」を育む授業づくりにつながるのではないかと考えました。

取り扱う内容を明確にした「各教科等を合わせた指導」の授業づくりのイメージ↓



## 研究の取組

### 1 年次

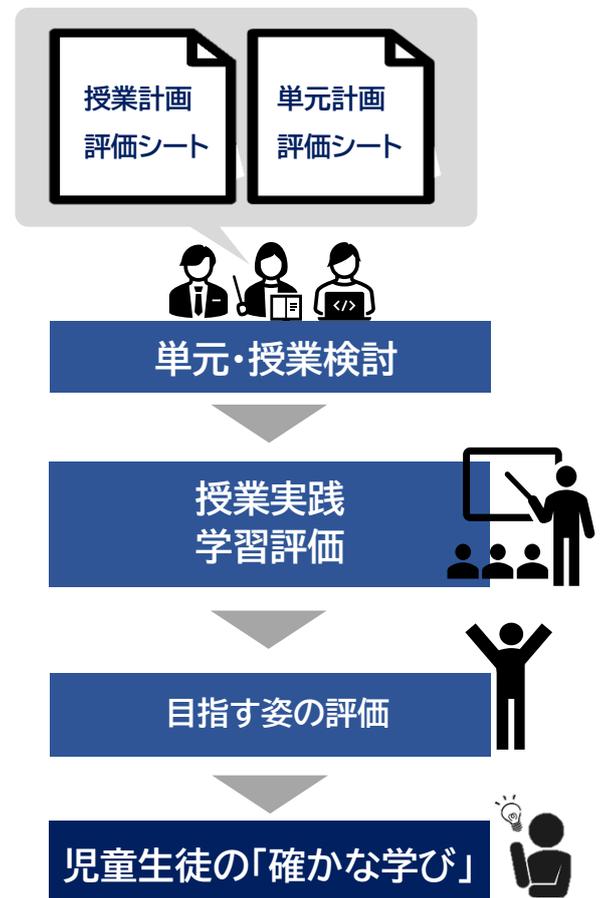
- ▶1単位時間の授業で、どのような教科等の目標・内容を取り扱っているかを分析し、教科等ごとに評価規準を設定して学習評価を行いました。（「授業計画評価シート」の作成・活用）

### 2 年次

- ▶「単元」に焦点を当て、単元を通して取り扱う各教科等の目標・内容を整理し、それを踏まえた単元計画（評価計画）の検討、実践を行いました。（「単元計画評価シート」の作成・活用）

### 3 年次(今年度)

- ▶単元を計画する際に、その単元で「目指す姿」を個々に設定し、教科等の学習評価をもとに、その「目指す姿」への到達度も評価するようにしました。
- ▶さらに、その単元の授業以外でも、想定される場面で学習した内容が活かされているかを見取ることで、「確かな学び」につながったのかを評価するようにしました。
- ▶授業づくりに学習評価を活かすことで、児童生徒にとって適切な単元計画、授業の展開、指導・支援の方法は何か、授業を通して検討し、「確かな学び」を支える授業づくりの要点を各学部の視点でまとめています。



# 研究協議会

## 日程

	8:55~	9:40~	11:25~	12:00~	13:00~	15:00~16:30
	全体会	公開授業	意見交換会	昼食	分科会(研究協議)	講演会
場 所	体育館	各授業場所	体育館		小学部:プレイルーム 中学部:音楽室 高等部:体育館	体育館
オンライン	中継あり	中継あり	—		中継あり	中継あり

▶対面とオンラインのハイブリッド形式で行います。

※オンライン参加の場合は、基本的に各定点カメラから、全体会・公開授業・講演会の中継をご覧いただけます。各学部の分科会についても協議の様子を視聴していただくことができます。

▶昼食の注文等はありません。ご持参いただくか、近隣の飲食店でお召し上がりください。

## 公開授業

	学級	単元名	授業者
小学部	1組	生活単元学習：「クリスマスパーティーをひらこう」	岩淵睦 木皿優 外山小織
	2組	生活単元学習：◎「おこめだいへんしん」 ▶大好きなごはん(米)を使った調理等を通して、生活科や国語の目標に迫ります。	 神保まなみ 佐藤孝
	3組	生活単元学習：「ドリームショップをひらこう」	三浦光里 吉野時緒
中学部	1年	生活単元学習：◎「パン屋さんをひらこう」 ▶おいしいパンでお客さんを笑顔にできる素敵なパン屋を開店します。ぜひご来店ください！	 長谷川秀丸 丸山碧
	2年	生活単元学習：「和カフェをひらこう」～パート2～	福士夏実 谷内田怜
	3年	生活単元学習：「校内実習をがんばろう」	鈴木健太 福谷ちづる
高等部	Aグループ	生活単元学習：◎「おうち時間を充実させよう」 ▶育てた作物を使い、協力して調理や片付けを行いながら、家事スキルの向上を目指します。	 鈴木隆生 永島麻紀子
	Bグループ	生活単元学習：「自分たちで考え、伝えあおう」	須田淳 齊藤可奈子
	Cグループ	生活単元学習：「自分の役割をはたそう」	渡部真由子 峯岸誠
	Dグループ	生活単元学習：「余暇活動を楽しもう」	平田祐也 松岡加織

▶各学部で「単元計画評価シート」「授業計画評価シート」をもとに検討した授業を公開します。分科会では、◎印の授業をもとに協議を行います。

## 授業者との意見交換

- ▶授業における活動設定や支援の方法など、具体的な授業の内容・授業づくりの考え方や、教育課程、進路指導など、公開授業の授業者を中心に、各発表者が発表や質疑応答、意見交換を行います。
- ▶参加者の皆様には、ポスター発表の会場のように、ご興味をもたれた発表を自由にまわっていただけます。



## 研究協議・指導助言者

- ▶公開授業を基に、学習評価の考え方や方法、それらを踏まえた授業づくりについて協議を行います。指導・助言者の先生方からは、ご専門の見地から実践内容や研究結果について、ご指導・ご助言をいただきます。

小学部	埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課学びの支援担当 埼玉大学教育学部特別支援教育講座	指導主事 山崎慎也 准教授 山中冴子
中学部	埼玉県教育局 県立学校部 特別支援教育課特別支援学校教育指導担当 埼玉大学教育学部特別支援教育講座 埼玉大学教育学部特別支援教育講座	指導主事 但野智哉 教授 葉石光一 講師 三橋翔太
高等部	埼玉大学教育学部特別支援教育講座 埼玉大学教育学部附属教育実践センター	教授 名越斉子 教授 内河水穂子

## ■ お申込み・参加方法

- ▶参加方法…対面あるいはオンライン(参加費無料)
- ▶申込方法…下記のリンク または QR コードからお申込みください  
<https://forms.office.com/r/B0HTK2x950>
- ▶申込締め切り **令和6年 12月6日(金)17:00** まで



参加申込

## お問い合わせ



埼玉大学教育学部附属特別支援学校

〒336-0021 埼玉県さいたま市北区日進町 2-480

電話:048-663-6803

HP : <https://fuyou.saitama-u.ac.jp/>

担当:研究主任 柳瀬 貴之

Mail : [tyanase@mail.saitama-u.ac.jp](mailto:tyanase@mail.saitama-u.ac.jp)



学校 HP